

令和4年度

宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査
全国体力・運動能力，運動習慣等調査

報告書

子供たち一人一人の体力向上のために



令和5年3月
宮城県教育委員会

はじめに

各学校及び各関係機関の皆様には、日頃から児童生徒の体力・運動能力向上及び健康教育の充実に御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度は、「サッカーワールドカップ」の開催や夏の甲子園での東北勢初優勝など、スポーツに対する機運が高まる機会が多くありました。関係の皆様には、引き続き、各地域や学校の特色を生かし、体力・運動能力の向上及び健康教育の充実のための取組を押し進めていただくようお願いいたします。

県教育委員会では、昭和39年度から本県児童生徒の体力・運動能力を把握するとともに、その向上を図るための調査を開始、平成18年度からは調査対象を全児童生徒に広げ、報告書を取りまとめることとしました。その報告によりますと、本県の児童生徒の体力・運動能力の状況は、平成30年度を境に低下傾向に転じております。この傾向は、新型コロナウイルス感染症の影響によるところが大きいと考えられますが、児童の運動に対する意識の低下や運動時間の減少など、複合的な課題が潜在していることも考えられます。

体力・運動能力の更なる向上のためには、児童生徒が楽しいと感じる体育の授業を通して、良さを認め、やる気を引き出すとともに、運動に親しませる環境を整備し、日常における運動機会の創出を図るなどの「手立て」の構築、「肥満」への対策など、健康教育への取組を推進することが重要です。県教育委員会としましては、関係機関等の皆様との連携を更に深め、対策を進めるとともに、各種教員研修会等の一層の充実を図っていきたいと考えています。

結びに、本調査の分析業務を担当していただきました宮城教育大学黒川修行教授をはじめ、保健体育講座の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、本県の子供たちが生涯を通じて健康で活力ある生活を送り、本県の将来を担う力となることを願い、挨拶とします。

令和5年3月

宮城県教育委員会
教育長 伊東 昭代

目 次

I 「令和4年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査」結果について

令和4年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査実施要項	1
1 令和4年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査 平均値一覧	2
2 校種別の令和4年度と令和3年度との結果比較	3
3 校種別の令和4年度と平成30年度（コロナ禍前）との結果比較	4
4 課題となる種目の推移	5
5 中期経年比較（平成20年度～令和4年度）〔小5・中2・高2男女〕	8
6 まとめ	9
【参考】長期経年変化（昭和39年度～令和4年度）〔50m走：小5・中2・高2男女〕	9
【参考】令和5年度における男女別・年齢別の各種目目標値の設定について	10

II 「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（宮城県分）」結果について

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要	15
1 体力合計点の推移	16
2 種目別の状況（全国平均値・令和3年度との比較）	17
3 種目別の状況（平成30年度との比較）	19
4 一週間の総運動時間の状況	20
5 運動・食事・睡眠の状況	21
6 質問紙による調査	24
7 運動部活動等の加入率及び小学生の曜日ごとの運動時間の状況	26
8 児童生徒のスクリーンタイムの状況	27
9 クロス集計（体育の授業は楽しい、1週間の総運動時間、平日の視聴時間と体力合計点）	28

III 課題と取組

課題と取組	30
体力・運動能力調査結果の有効活用のために	33
保健統計調査、体力・運動能力調査結果一覧表について	35
体力・運動能力調査結果に係る個人表彰の実施について	36

IV 事例紹介

体力・運動能力向上、健康課題に向けた取組事例の紹介	37
小学校の取組事例	38
中学校の取組事例	46
高等学校の取組事例	54

V 参考資料

参考資料	58
------	----